

あけましておめでとう



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。昨年同様、本年も四条畷福祉会に、あたたかい御支援の程、よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の世情に困惑して2年。福祉業界も今だコロナ対策として色々な制約を受けています。当法人の利用者の方々や保護者の皆様方には大変な御不便と心配をおかけしております。

その中、各事業所への物心の心づかいを頂き、ありがとうございます。今後もコロナと共生の日々のもと、各事業所活動につとめていきたいと存じます。

さて年の初め、明るい話題として、なわて更生園に隣接している飯盛城跡が「国史跡飯盛城跡」に指定されました。織田信長に先駆ける永禄3年（1560年）頃、三好長慶により石垣を全面的に用いた初期の城として築かれたとの事です。いつの日か「三好殿」がNHKの大河ドラマで放映される日を楽しみに、飯盛山を仰いでいたいと思っています。

ところで、四條畷市が今後も福祉政策にこぶしをふるってもらえる妙案はと自問していますが、関係者に賛同を得られるような内容に至りません。我事ながら断腸の思いです。もし、その妙案が具現化し、市内の地域住民と共に参加型として進んでいったなら、共生の生き方としてより良き社会づくりになるのではと。そんな【初夢】正夢を見ながら今年もコロナ禍の中、粛々と歩んでまいりたいと存じます。

関係各位には重ねてお礼とお願いをいたします。

理事長 上原 治



なわてまつり企画・第1弾！ ～ドローンで撮影しました～

ドローン撮影日は、あいにくの空模様でしたが無事に撮影することができました。

コロナ禍で法人祭が中止となったため、各所で同じ時間を共有する事や、各事業所の普段の様子を紹介する目的も含めてプロモーションビデオを作成しました。

なわてでは、各場所に利用者さんと職員が分かれて、グラウンドではシャボン玉機を使い大量のシャボン玉を飛ばし、ベランダでは大きく手を振り、玄関前では手作りの「さをり」のファッションを披露し、屋上では甲子園ラッキーセブン？と思わせるようなジェット風船を大量に飛ばしました。間近までドローンが接近して来た時「凄いコレ」と大喜びで、みなさんとびっきりの笑顔で参加されていました。

各事業所でもドローンでの撮影を行い、映像が完成し法人のPRにも繋がり、法人各所の魅力を外部に発信できればと思っています。

(伊藤 優志)



なわてまつり企画、第2弾は、各所間で中継を繋げる予定でしたが、緊急事態宣言が長引き中止となり、各所で企画をする事になりました。

なわて更生園では中継の代わりとして、ありのままの利用者さんと職員の映像の上映会を開催する事にしました。あとはおやつをどうするか。「かき氷を食べたい」という事から、『ハワイにシェイプアイス（かき氷）を食べに行こう』突拍子もない一言で決まりました。一人一人のパスポートも作り、全て本格的です。



出発当日、日本国の出国手続きを終え、ひやひやししながら探知機

のゲートをくぐり、緊張した顔でハワイに入国。そして税関申告。扉の向こうはハワイが待っています。

扉が開き、【アロハー！】現地の人達がレイでお出迎え。歓迎ムード一色です。フラダンスの曲が響き渡る中、目的のシェイプアイスを英語で注文しました。僅かな滞在時間を異国で堪能することが出来たでしょうか？

最後に【マハロー】と笑顔で手を振り、それぞれの一行はハワイを後にしました。

次回は本当のハワイに行けたらいいですね。空には法人旗が風に吹かれ元気になびいていました。

ハワイカフェを作る為に、たくさんのソテツの葉を準備して下さったり、衣装、撮影、準備などに携わって下さった全ての皆さんのおかげで楽しい時間を過ごす事が出来ました。

(平尾 恵子)



通所農園！収穫しました！



5月から通所の活動として手づくり工房前の畑を利用して農園活動をしています。

最初は草抜から始め、石灰、肥料をまいて土をしっかりと耕してうねが完成しました。何を植えるか悩みましたが周りの方の意見を参考に畑初心者でも簡単に育つというミニトマト、キュウリの苗を買ってきました。

キュウリは植えてから成長が早く一か月程で収穫する事ができ、採れたキュウリは調理実習の活動で浅漬け、サラダとして食べました。ミニトマトも2か月くらいで収穫ができ、採れたてのトマトを食べてみると、みんなで苦労して育てた分の楽しさも加わり美味しさが増した様に感じました。収穫できた野菜を玄関先のバザーで商品として売る事を目標として頑張っていきたのですが、寒くなると野菜が育ちにくいそうなので、お花、ハーブを植えるかもしれません。植えたお花を加工して商品作りが出できれば活動の幅も広がるので頑張って活動を継続していきたいです。

(神田 卓哉)

地域をキレイにしよう ～公園清掃～

津の辺

大東市からの業務受託で地域の公園の維持管理清掃に携わらせてもらっています。昨年度までは明美の里公園の清掃でしたが、今年度より深北第4公園と第5公園の2か所を清掃しています。いずれも「津の辺」から車で10分程のところにある公園で基本毎週木曜日1時間半の作業で月4回行っています。

利用者さん2名支援員1名で行っていますが、まずは「津の辺」で清掃実習用のユニフォームに着替え、車に作業道具を積み込み出発。そして到着後どこをメインに清掃するかを確認します。夏場だと主に除草作業、秋から冬は落ち葉の清掃がメインで作業終了時には90ℓのゴミ袋が何袋にもなる時もあり季節ごとに忙しい作業です。

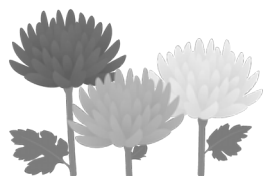
1時間半では時間が全く足りないくらいです。

作業の仕方は利用者さんにより性格が出ます。一か所をすごく丁寧に作業される利用者さん、草引きの鎌を使いお願いした場所以外も広範囲に必死に作業される利用者さん、これでもかというくらい雑草の根っこ以上に掘り下げる利用者さんなど様々ですが近所の方々に「きれいにしてくれてるね!」「いつもありがとう!」

「ご苦労様!」とお声掛けもいただき、やる気倍増!みなさん熱が入った作業を行っています。

少数精鋭での清掃業務ですが、これからも少しでも綺麗な公園になるように地域貢献も含め頑張っていきたいです。

(上森 敬二)



笑顔たくさん!一日外出♪

津の辺

令和3年10月に、グループ単位での外出としては、津の辺利用者8名と職員4名で1日外出に出かけました。

9月末まで全国的に緊急事態宣言が出ていたので、この日の外出も延期になってしまうのではないかと心配でしたが、延期どころか、当日は素晴らしい天気にも恵まれました。

行き先は、奈良県の道の駅「大和路へぐり」と言う所で、イチゴや靴下、菊の花等が有名だそうです。

奈良のクッキーやお饅頭選びに夢中になっている方、アイスクリームやジュースを飲みながら、のどかな景色を楽しみながらゆっくりとした時間を過ごされている方など、普段と違う雰囲気を楽しまれていました。

コロナの影響で、多くの行事やイベントなどが中止や延期になっている中で、暗い顔を見ることが増えてしまいましたが、久しぶりに外で元気な笑顔が見られた一日でした。

(始田 貴大)



創作活動～色の不思議！？

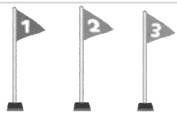
津の辺

津の辺では利用者の方に何か自分の持ち味を発揮できる取り組みが出来ないと、以前より創作活動を日課に取り入れています。毎回職員と一緒に季節の壁面を作ったり、絵を描いたり、習字をしたりとそれぞれができる事を活かして作品作りをしてきました。そして、更なる向上を求め、利用者の方の持ち味を今以上に発揮できるように、2か月に1回専門の先生に来ていただいています。おかげで、個性的なものを作り上げられる充実した時間を持つことができています。

去る6月29日の創作活動は、絵画の有賀先生をお招きして、色の変化の楽しみを教えてくださいました。テーマは、色作りを楽しもう！！です。実際に絵の具をパレットに出し、自分たちで色を作っていくのは初めての方が多く、先生のお話をしっかりと聞いておられました。まず、赤・黄・青・白の4色の絵の具を使って、10色の色を作ります。混ぜて出来た色と、また別の色を混ぜて～♪新しい色を作って～♪出来た色を画用紙の上に…。思い思いに塗ったり、形を描いてみたり。たくさんの色を使って出来上がりです。出来上がった作品に自分で題名を考えて最後にサインも書きました。

それぞれの個性あふれる作品を壁に飾り、参加者で感想を伝え合う時間もあり「キレイ」「〇〇かいたよ～」「お家に持って帰りたい～」「楽しかった～」等の感想を頂きました。個々の能力を引き出してもらい、それを形として表現できる素晴らしい時間を今後も有意義に活用し、各職員も学んでいきたいと感じました。

(岩本 芳宗)



みなみの工房・思い出のベスト3



あっという間に終わった昨年ですが、思い返せばびっくりした事も沢山ありました。ということで、テンポ良く後半期のみなみの工房の思い出ベスト3を発表します。

第3位は、「・・・還暦だから？」です。

手洗い時、いつも声掛けがないと石鹸をふざけて？使い過ぎるNさん。ただその日からは、なぜか石鹸を少量に使用されているのです。「60歳を迎えると、すごいですね、いつもと違いますね」とお声をかけると、ヘラヘラと返事するのみのダンディさに驚愕。いつまで続くのかなーっと今も見守っていますが、本当におふざけは卒業されたみたいです。

第2位は、「美味しかったなー。」が鳴りやまないです。

夏のある日、久しぶりに喫茶にでも行こうと、ドライブスルーを利用。はじめて訪れる有名なコーヒー店で、「フラペチーノ」とやらを注文。「おいしかったです！」「また行きたい！！」と利用者様の2、3日止まない声や期待に、おいしさ以上に記憶に残りました。

そして第1位は、「何かが起こる」創作活動の日です。

昨年の夏ごろは雨に泣かされた日が多かったですね？みなみの工房はよく覚えているのです。なぜなら、創作活動で「てるてる坊主」を作って、入り口の展示スペースに飾った翌日から、長い雨の日が終わり、晴天が続いたのです。「わたしらのおかげかしら」と得意げな利用者さんの顔は忘れられません。本当に驚きました。

もう一つは「貼り絵」に初挑戦した時の事です。いつもおしゃべりで賑やかなお姉さまたちが活動に没頭。1時間程、無音状態が続いた事に、職員全員がびっくりです。出来栄の良さもピカイチでした。

(上原 和人)



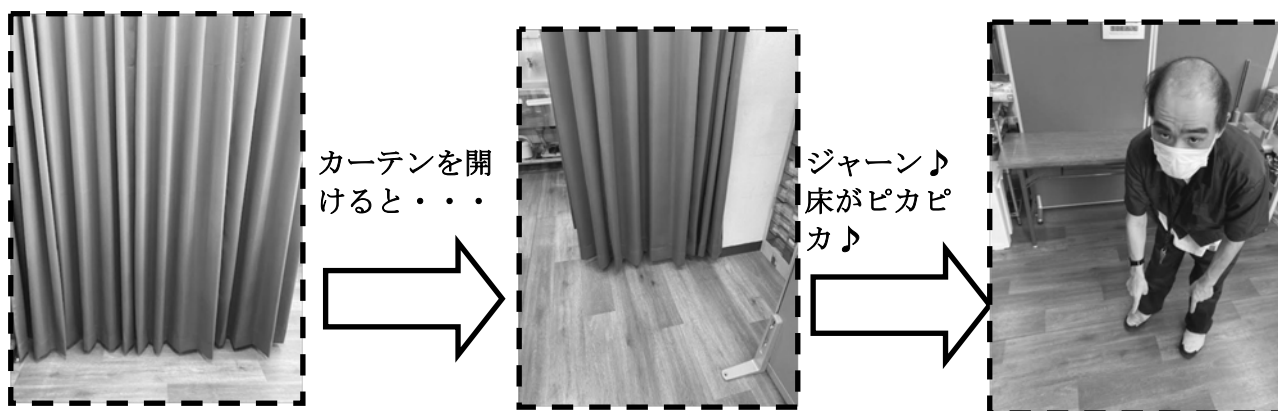
リフォームで気分は上向きに



この度、四条作業所は床を全面張り替えるとともに、空間の有効活用という事で、間仕切りを改めるリフォームを行いました。それぞれの障がい特性から、構造化し、分かりやすい環境、分かりやすい動線を作るという事を普段から心がけていますが、老朽化には敵わず床をお洒落なカフェ調にさせていただきました。外観はオレンジで床もお洒落な感じになり、本当に作業資材がなければカフェです。

トイレの床の張り替えも行いました。1日何度も利用する場所です。使う頻度の高い場所だからこそ、しっかりと先を見据えたリフォームが必要だという事できれいに張り替えていただきました。コロナ禍で気持ちもどんより気分でしたが、事業所もきれいにリフォームしたことで心機一転コロナも吹き飛ばすくらいの気持ちで四条作業所はこれからがんばっていきたいと思います。

(山本 秀明)



昼休みの時間

薮屋作業所

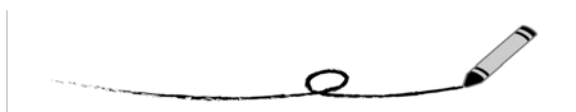
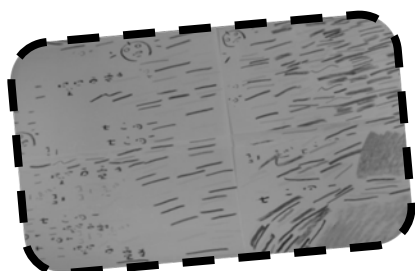


薮屋作業所では、密を避けるために1階と2階とに分かれて活動しています。日中は、作業（フックボルトの組立や集塵袋の組立）や運動（散歩やテレビ体操、エアロバイク）を基本に活動していますが、食後の昼休みには、それぞれの利用者さんが思い思いに過ごされています。利用者さんはテレビを観たり、横になったり、音楽を聴いたり、また絵を描いたり雑誌を興味深く見たり様々です。毎日のルーティンは変わらず、過ごされており、その方が落ち着くのかな？と思ったりしています。今回は特別にお昼休みを利用して、創作活動に取り組む利用者さんの作品を皆さんに見て頂きたいと思います。

一つ目は塗り絵作品です。ある利用者さんはトータル10冊以上の塗り絵を描かれました。本当に絵の色の使い方がうまく、私自身が教えて欲しいぐらい上手に描かれます。特にディズニーの塗り絵が得意で、きれいに塗られています。また、もう一人の利用者さんも毎日絵を描かれており、きれいな色合いでクーパーや色鉛筆で表現されています。時々、その中に電車の絵やウルトラマンの絵も描き足されているのが特徴です。紙面が白黒なので、鮮やかな色合いはお見せできませんが、雰囲気だけでも味わっていただければ幸いです。

3月開催予定の作品展「迷作展」にも出展したいと思っています。

(小野 浩史)



支援センターしのぶが丘が移転して一年



一昨年の夏に四條畷市岡山から、この穏やかで閑静な土地である郡屋本町に引っ越してきて、早いもので一年以上が過ぎました。まだ、それだけしか経っていないと思う反面、もう一年かという時の流れの速さを感じます。しかし、やっている仕事内容は以前と変わらず奮闘の毎日となっていますが、この地に移ってきて何より便利になった事としては場所がより四條畷市の中心付近に近づいたという事であり、それに伴い、各事業所や他の関係機関へのアクセスが格段に上がりました。しかし、反対に初めて来るお客さんについては場所がすくし分かりづらいという声も聞きますが、そういった方たちが口を揃えて（自然豊かで良い場所）と言ってくれています。

また、ここは以前と比べ、とても静かで落ち着いた場所ではありますが、たまに隣のグループホーム「しとみやの家」から利用者さんの声が聞こえてくる事もあり、かつて「忍丘作業所」と併設していたあの頃を懐かしく思い出させてくれています。

そして、最後に移転してきて一向に進まないのが事務所内の環境づくりであり、いまだに殺風景なところがありますが、これについては働き方改革の一環として優先順位をつけながら徐々に整えていこうと思っています。

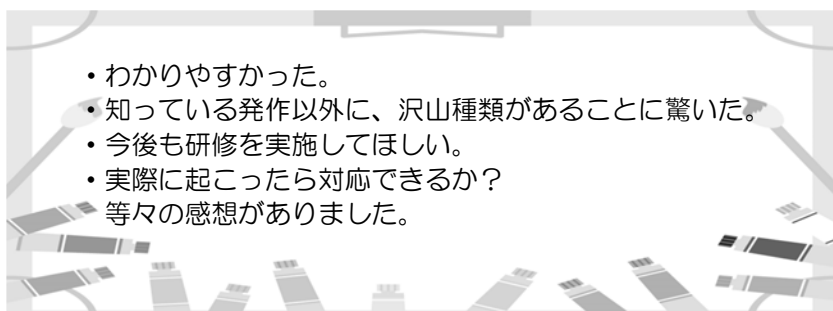
そんな感じで約一年が経ちましたが、これからも「支援センターしのぶが丘」をよろしくお願い致します。また、近くにお越しの際は気軽にお立ち寄り頂ければ幸いです。

(田中 敏)



グループホーム研修会 ★てんかん発作★

令和3年6月22日、6月30日に、北条の家住居としとみやの家住居に分かれて、なわて更生園の山田看護師と福留看護師を講師として「てんかん発作」について研修を実施しました。グループホームで、利用者さんと保護者の方々の高齢化が進む中、様々な状況が変化しつつあります。てんかん発作を起こし救急搬送される事例がどのホームでも起こり、増えてきている状況です。日々、利用者さんの生活を守って下さっている世話人さん、支援員含め知っていく・理解していく・共通認識が出来たらということもあり、出来るだけ沢山の世話人さんに参加していただき実施しました。



体調急変はいつどこで、誰が起こりうるかわかりません。利用者さんの生活を守るところでは、すべての不安解消されることは難しいかもしれませんが、今回看護師に来てもらい説明・対応・実演を行うことでわかったこと、気付いたことを皆で共有できたと思います。また、今後も皆さんの協力のもと有意義な研修会が実施できるようにしていきたいと思っています。

(佐藤 朋子)



園内研修！どないしょ～



緊急時の対応



ツーリング大好き、看護師山田です！

今回は園内研修についての様子をご報告。アットホームで意見を活発に出し合える研修がしたい！との思いで「和気あいあい全員参加」の形で行わせていただきました。内容は「緊急時の対応～どないしょ～」です。ですので「ま・じ・め・に和気あいあい」です。

気になる「初期対応」では、早速倒れた職員を、突然指名された職員が助ける！手づくりAED電極を貼り、心臓に見立てたペットボトルを使って胸骨圧迫をして、見事救命してくれました。貼る場所はここかな？圧迫の方法はどうだったかな？と皆で意見を出し合っていました。

1分間に100回圧迫ってむずかしい。でも1分間に100拍の歌に合わせてなら出来る！脳内でメロディーを流しながら「もしもしかめよ」「ドラえもん」「アンパンマンマーチ」など5cmの深さで100回／分の速さで押す！全員で出来ました。

また、突然スタッフが演技で倒れるドッキリもあり、全員ビックリ！の場面もありました。

（しっかり救命してくれましたよ。しかし、演技がうますぎる）

実際の緊急や救命の場面では、心の中では本当に「どないしょ」です。「大丈夫！出来る！」となるまでには、繰り返しの十分な訓練が必要だと思います。

最後にみなさん、気分転換はされていますか？私はのんびり気ままに、ご当地アイスクリームを探しにツーリングです。
（看護師 山田綾子）

津の辺の新しい看護師さんです～



こんにちは！5月末より津の辺で看護師として勤務させて頂いています加藤です。

利用者の皆さんが安心して健康に過ごせるために少しでもお役に立てることが出来るように努めていきたいと思います。まだ、慣れないところもありますが、色々教えてくださいね。

これからもよろしくお願いします。

（看護師 加藤信子）



なわてのお正月メニューは??



昨年はコロナの影響で、いろいろと制限のある生活でした。今年は、どんな一年になるのかワクワクの年明けです。楽しくすごせる一年にしていきたいですね。

今回は一年さかのぼって令和3年のお正月のメニューの紹介です。いつもは、お家で過ごされている利用者さんも、なわてで過ごされていたので、とても賑やかなお正月になりました。そんな中でも少しでもお正月気分を味わってもらいたいと愛情とひと手間かけたメニューがならびました。全部の写真が無いのが残念ですが…。ちなみに写真は1日の朝食のおせち料理とおそうにです。（おもちのかわりに、もちぶを使っています。）お正月メニューの中からのイチ推しメニューは、ちゃわんむしでした。

厨房職員の方たちからは、「いつもと同じようなメニューの日があったのが残念。」「次回は、はるまきとか焼肉定食とか入れたい。」などと、今年のお正月が楽しみになるような、やる気マンマンの感想があがりました。何かの機会がありましたら、のそきにきて下さいね。

今年もやる気マンマン元気に頑張っていきます。

（栄養士 正長 治）





◇親の会より◇



新しい年を迎えました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で親の会では定例会や食事会、保護者の交流する機会を持つことが出来ず、情報交換が出来ていない事が気がかりになっていました。令和4年は、皆さんとお会いできる機会が増えることを願っております。

皆様も体調に気を付け無理のない生活をお過ごしください。

(親の会会長 谷本 順子)

兄弟で津の辺を利用して思う事



大雅、雄斗は共に自閉症・知的障がいです。大雅は津の辺でさをり織りや、清掃の実習をさせていただいてます。さをりは大雅もやり甲斐があり、テーマやイメージを持っているようです。今までなら、絵も手本を真似ることしか出来なかったのに凄いです。雄斗は小さな頃から

突飛な行動があり、目が離せない子供でした。今も目が離せませんが、落ち着いてはきました。紙ちぎりやフックボルトの作業をさせていただいてます。雄斗は言葉が少ないのに「つのべ」とよく口にします。楽しみにしているようです。安定して津の辺で過ごしているのも、兄弟のこだわりなどにも丁寧に対応していただけているおかげです。大変感謝しております。これからもよろしくお願い致します。

(津の辺保護者 加藤 恵美子)

安定した暮らしの中で



左から雄斗、大雅



ワクチン接種と地域との連携

ワクチン接種開始の報道がされてから、1年が過ぎようとしております。新型コロナ肺炎蔓延防止の切り札として、ワクチン接種開始の報道がされてから。当初は、感染収束の切り札としてかなりの期待値大で受け止めていましたが、その後の変異株による感染拡大に、見通しのないトンネルにまた、戻った感があります。ブレークスルー感染なる状況も出てきて、3回目の接種も言われております。また、段階的行動規制の緩和も議論されており、本当にウィズコロナの世の中を覚悟しないといけないのかと年始早々に暗い独り言で恐縮です。

暗い話の一方で、今回市のワクチン接種施策に関しては、他市と比べてスピード感を持って運用頂けた、という意味では心強い行政のバックアップがあり、明るい部分もありました。近隣各市HPに優先接種対象者の情報発信が始めると、福祉従事者の扱いは各市で様々でした。多くは、個人が優先接種対象者として個別に事前申請し、地域で接種する運用でしたが、国からの供給量が一時止まったことでかなりの混乱が生じる中、入所ご利用者の接種のタイミングで職員も施設単位で進めることが出来ました。本来は集中的に施設で接種するのが理想でしたが、保健センターや地域のクリニックでの接種となりました。6月中旬から大半のご利用者は計画的な接種予定で概ね進みましたが、行政担当部署も当日発生するキャンセルに簡単には廃棄出来ない状況に、職員の場合は当日に時間・場所の連絡を受けるといった形で、突発で現場から抜ける職員を想定しつつ、辛うじて支援体制を維持しながら、接種ファーストで柔軟に対応できたのではと感じております。

これまで連携することもなかった行政部署とその間は、ほぼ毎日密に連携を取り進めて来ました。担当者間でお互いに人となりも知り得たようにも感じます。新たな心強い社会資源を得た思いです。地域の方々や関係機関に支えて頂きながらも、微力ではありますが地域にお役に立てたらと。今年も辛抱の年になるのかも知れませんが、昨年同様に取り組んでいきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。

(なわて更生園 園長)

ボランティア御礼

ボランティアセブン様
四條畷山の会様
四條畷おはなし会様
真鍋和美様

御礼【御厚志】

石堂様・匿名希望様

人事

～入職～

西川英美 8/1付 グループホーム
生活支援員兼調理員
後藤美鈴 11/17付 なわて更生園
生活支援員

～退職～

宮成睦子 8/31付 グループホーム
生活支援員兼調理員
高木恵美子 10/31付 津の辺
調理員

今年はやります・迷作展！



迷作展
令和になったんでこんなん作っ展！

- ・日時：2022年3月15日(火)～22日(火)
AM11:00～PM5:30
※21日(月) 休館日
※最終日はPM4:00まで
- ・内容：陶芸、さをり織り、草木染め
書道、絵画作品などの展示
- ・会場：ガレリア・ロッソ・イクダヤ
- ・問い合わせ先
社会福祉法人 四條畷福祉会 なわて更生園
四條畷市南野2463 ☎ 072-876-3334
※入場・喫茶無料。ぜひお越し下さい！

163号線 ←	四條畷神社	阪奈道路 →
池田屋 本店	ガレリア・ロッソ・ イクダヤ	N ⊕
	■マクナルド	四條畷学園
JR四條畷駅		
木津 ←		京橋 →

*社会情勢により中止になる場合があります。

詳しくはホームページを、ご確認ください。



上田登世子さん・古希おめでとございます



なわて更生園、9月の誕生日会で上田登世子さんの古希のお祝いをしました。「古希」は中国・唐の詩人である杜甫の詩の一節「人生七十古来稀なり」という言葉に由来していますが、もしかして、なわて更生園で一番お元気？と思われるかもしれません。たくさんの笑顔と館内に響く笑い声。いつも明るい上田さんです。この日は紫のちゃんちゃんこを着ました。そして皆で考えた名前の色紙とお庭で咲いていたお花たちもアレンジで登場。たくさんの想いを乗せて未来へ繋がるように。上田さん、どうぞこれからもよろしくお願ひしますね！ (平尾 恵子)

社会福祉法人 四条啜福社会を支援するための 「賛助会員」 入会のお願い

四条啜福社会は平成2年3月大阪府知事の認可を受け、知的障がい者の育成を目的として、社会福祉事業に理解ある人達や保護者によって設立されました。

今、障がい者問題は、障がい者を保護育成する時代から、社会の構成員として共に地域生活ができるよう福祉サービスの推進が求められる時代となってまいりました。

しかしながら知的障がい者が安心して生活が送れる地域社会への実現にはさらになお多くの方々の御協力、御支援が必要でございます。

つきましては、皆様方には、知的障がい者の現状をご理解いただき本法人活動に、賛助会員として御支援いただきますようお願い申し上げます。

なお、この会費は、「寄附金」として、本法人の経営する第一種および第二種社会福祉事業に使用させていただきます。

賛助会費

個人：年額 1,000円

団体：年額一口 10,000円

①1口でも結構です

②税法上の特典があります

『賛助会員』 加入の御礼及び協力者一覧

令和3年5月1日から令和3年10月31日までに賛助会員に賛同して下さった方は
21名、総額費は351,000円でした。ありがとうございました。

石原欽子様 乾里美様 入部町子様 岡崎邦子様 亀井輝穎様 栗山幸雄様
小林誉典様 近藤笑美子 佐倉公子様 高島眞雄様 谷田真一様
田畑美知子様 竹村和江様 麓武司様 福原康弘様 藤川朗様
アイサポート株式会社様 キンキ寝具株式会社様
三栄商事株式会社（株）山崎建築設計事務所様 匿名（順不同）

支援スタッフ募集 知的障がい者への理解のある方!!

支 援 員 年齢 40 歳迄 長期勤続によるキャリア形成を図るための若年者等の募集（3号のイ） 要原付免許 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正月給／ 251,145 円～ （短大・専門学校卒の場合） 259,748 円～ （4 大卒の場合） （夜勤手当 6,000 円/4 回・処遇改善手当含む） （近辺居住の世帯主に限り 住宅手当 20,000 円支給） （試用期間 3 ヶ月） 女性利用者のトイレ・入浴介助等があるため、 女性の方を希望します。	7：00～ 15：30 9：00～ 17：45 13：00～ 21：45 15：00～翌 10：00 シフト制（夜勤有）
支 援 員 （夜勤専従） 同性介助のため女性希望 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	1 勤務／ 22,350 円 但し、試用期間中は 18,900 円	17：00～翌 10：00
支 援 員 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／ 1,060 円～	9：00～17：45
調 理 員 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／ 1,040 円～ 事業所での食事提供にかかる全般	6：15～14：00 9：00～17：45 14：00～19：00 シフト制(時間応相談)
調 理 員 勤務地： 津の辺（大東市南津の辺町 1-43）	時給／ 1,040 円～ 事業所での食事提供にかかる全般	9：00～14：00
世 話 人 勤務地： （大東市内・四條畷市内に複数ヶ所有り）	一泊／ 16,964 円 利用者の身辺援助、食事提供が主な仕事です。	16：00～翌 10：00 （仮眠有）

【待遇】各種社会保険、賞与年 2 回、有給休暇有、交通費支給（上限有り）

【応募】まずは下記までお問い合わせ下さい

社会福祉法人 **四條畷福祉会** ☎072 - 876 - 3334